

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらめき宜野湾		
○保護者評価実施期間	令和7年1月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年1月1日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人1人の気持ちに寄り添うことが出来るように、スタッフが日々児童のやりたいことに耳を傾け、個別だったり、小集団で過ごすことが出来る活動の提供を行っています。	建物内で、個別の部屋や庭など、日によって変わる児童への支援に伝えるスペースを生かし、個別、小集団での活動が出来る環境を整えています。	特性や年齢別の専門知識を深めるために法人内の専門職と連携を取り、適切な活動の提供が出来るように、空間の工夫や、当事業所で出来る事を一緒に考えていきたい。
2	こどもの活動に応じて部屋の使い分けができるスペースが確保されています。	活動室・個別療育が出来る部屋があり必要に応じて対応できる環境を整えています。	特性やその日の状況に応じて環境が整えていけるように専門職と連携を図り空間整備をしていきたいと思います
3	年に2回以上親子交流会を企画し保護者間の交流や支援員との交流を図ることが出来るような企画を提案しています。	出来るだけ多くのご家族が参加できるように早めの声掛けをし、どの年齢の世帯が参加しても楽しめる内容を企画しています。	今後は保護者交流会の内容を充実させるため、法人内のアドバイザーに参加していただき、保護者の困り感の解決を図ったり、思いを共有できる会を企画していきたいと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多機能事業所のため1歳から8歳までの児童が過ごしているの、縦割りで関係性を構築するにはいいが、それぞれの年齢に合った支援が出来るように空間の活用が必要だと思われる。	日頃の過ごし方に問題はないが、日によって対応が必要になったとき、動きの大きな児童と体の小さい児童が同じ空間にいて、どちらにも制限がかかることがあります。	児童が怪我無く安全に過ごすには、制限も必要になるが、建物の空間やスペースをうまく活用し、それぞれが制限なくのびのびと過ごしている環境の整備や人員配置が必要になってくると思っています。
2	土曜日の開所が出来ていない。	保護者様より土曜日を利用したいという声は少しずつ上がってきているが、人員不足で土曜日の開所が出来ていません。	受け入れ人数の把握と、職員の週休が回せるか等検討する必要があるので利用希望の人数の把握のため保護者に声掛け確認を行って的確な人員配置が可能であれば開所に向けて動いていきたいと思っています。
3	地域交流が出来ていない。	地域交流をどのように企画していけばよいか動き方がわからないので、地域交流が出来ていません。子どもたちを地域で守ることを考えると事業所の取り組みの理解や法人の方針を地域に伝えていけるようにならなければいけないと思っています。	他事業所の取り組みを参考にしながら利用児童が通う保育園や幼稚園等アプローチが出来るように他事業所の管理者からアドバイスをいただきたいと思っています。